

地域医療

あがの市かわら版

第4号

新病院現場では鉄骨建て方に着手
モデルルームによる検証を実施



鉄骨建て方の様子（10月24日撮影）

新病院の建設現場から程近く、現在は空き店舗となつているスペースを利用して、モデルルームが展示され、病院スタッフを対象にした検証が行われました。今回展示されたのは、4



モデルルーム検証の様子

6月末から続いていた基礎工事が9月末までに予定通り完了し、10月10日（金）鉄骨建て方に着手しました。鉄骨製品は、あらかじめ県内の鉄骨加工製作工場で作成されたもので、1本ずつトレローラーに積み込まれ、毎日工場から現場まで運ばれます。年末には鉄骨の建て方が完了する予定で、新病院の骨格が姿を現します。



10月上旬、瓢湖に白鳥が飛来し、現在約3,200羽となり、11時と15時には、白鳥おじさんが餌づけをしています。

発行：阿賀野市 民生部 地域医療推進課
平成26年10月28日
TEL 0250-61-2503（直通）
FAX 0250-62-0281
E-mail : chiikiiry@city.agano.niigata.jp

新病院名称

「あがの市民病院」に決定！

平成27年10月に開院予定の新病院名称が、「水原郷病院」から「あがの市民病院」に変更されることになりました。

新病院名称について、新病院名称検討委員会で選んだ5つの候補名称から、市民の皆さんにアンケートを行った結果、一番多い回答が「あがの市民病院」でした。

この結果を踏まえ、新病院名称検討委員会で候補名を決定し、9月の市議会定例会に議案を提案し、議決されたものです。

分かりやすく、親しみが持てる名称

「あがの市民病院」を選んだ理由として、「あがの」表記は「分かりやすく、親しみが持てる」「呼び名が柔らかく、明るいイメージがある」といった意見が多くありました。

医師や職員へ感謝の言葉！

自由記載欄には、医師や職員への感謝の言葉や、新病院への期待のメッセージが多く寄せられました。



第一回水原郷病院祭 おかげさまで60年
地域医療フォーラム「特別講演」同時開催！

水原郷病院は、昭和29年に開設し、今年で60周年という節目を迎えました。そこで、お祝いを兼ね「病院祭」を11月8日（土）（午前10時から午後2時）に開催します。骨粗鬆症の検査や寝たきりにならないための体操、健康のための食事、肥満度チェックなど市民の皆さんから体験していただける内容としています。その他、フリーマーケットやJAによる農産物販売など多くの催しものがあります。

また、特別講演として、新潟大学第二内科の成田教授から「健康寿命を延ばすーじん臓にやさしい生活」と題したご講演をさせていただきます。病院は市民に愛され、市民は病院を見守り支えることが大切と思っており、多くの市民の参加により、一層そうした気運が広がることを期待しています。

包括ケアシステム構築に向け

病院を核として 戦略会議始動

市では、地域包括医療・包括ケアシステムを水原郷病院が核として推進するにあたって、医療・介護・行政の現場で活躍しておられる方々を中心として、地域医療ケア戦略会議を立ち上げ、第一回会合を10月22日に開催しました。

医療と介護が連携を図りながら、在宅や施設など住み慣れた地域で、その人らしく生活するには、それぞれがどんな役割を果たすべきか、目指す姿を共有することから議論を深めていくことになりました。

